

平成25年5月10日

日野小学校保護者様

日野小学校長 望月千恵子

登校のしかたについて（お知らせとお願い）

日ごろより学校教育に対し、格別なるご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本校ではこれまで、年間を通じて高学年児童が班長となって低学年児童とともに登校する集団登校を行ってきました。

集団登校は、低学年児童が高学年から正しい歩行の仕方を学ぶことができ、また高学年児童が低学年の面倒を見ながら登校することにより、班長としての自覚や責任を感じることができるなど、良い点があります。

しかしながら、問題点も指摘されてきました。年間を通して行うことが慣れにつながるせいか、子どもたちの歩行の姿に触れた地域の方から「安全に対する意識を育てる事ができていないのではないか」という指摘もされています。

また、毎年実施している保護者アンケートでも、ここ数年必ず問題として指摘されるのが、子どもたちの安全に対する意識をもっと高めたいということです。このほか、子どもたちが集団でいるために大きな事故に巻き込まれるといった事例も少なくありません。こうした点をふまえ、学校では今年度より子どもたち1人ひとりが「自分の命は自分で守る」という意識を高めていくことを目指して、集団登校の期間を設けて重点的に指導しながら実施しております。

これまで班長児童への個別指導はもちろん、春の交通安全教室では、全校一斉の歩行指導も行い、意識を高めてきました。年度当初から6月1日まで、また夏休みや冬休みなどの長期休業が明ける新学期の最初の1週間にも、集団登校の実施を計画していますが、それ以外は1人ひとりが安全に注意しながら歩く事になります。学校で十分に指導を重ねて参りますが、各ご家庭でも、渡る時に左右を確かめる、飛び出しをしない、右側歩行を守る、信号をよく見て守るなど、日常的にお子さんへの安全指導をお願いします。

学校・家庭・地域が一体となり、大人も、そして子ども自身も安全への意識をさらに高めていけるよう、ご理解、ご協力をよろしく願いいたします。